

丹野団長より茨城県へ要請書を手渡す



3月14日から21日の日程で「2018フクシマ連帯キャラバン」を実施しました。キャラバン隊は新潟から出発し、福島、茨城、東京と移動しながら各地で脱原発を呼びかけ、最終日の21日、東京・代々木公園にゴールしました。全港湾、全国一般、全日建連帯、自治労、日教組、国労から総勢26名が参加しました。



東京

東京・代々木公園でおこなわれたさようなら原発全国集会

きいて下さい、この思い!

フクシマ連帯キャラバン特集

放射能は目には見えず、風が吹けば拡散するもの。線量計を確認すると、あちこちで警告音が鳴り響き、たった数十cmの間に境界線があるということに疑問を感じた。本来、線を引いて避難区域を決めるようなことではないはず。
(東北地方ひたち支部 井坂雄太)

浪江町太平山霊園にて



福島



フクシマ連帯キャラバン 2018 結団式

2018フクシマ連帯キャラバンの団長を務めさせていただきました東北地方小名浜支部の丹野泰希です。キャラバン行動も今年で5回目となりより多くの人が参加する運動になりました。簡単に行動を振り返ってみたいと思います。

団長東北地方小名浜支部 丹野泰希

浪江町の帰宅困難区域



まず、キャラバン隊は新潟で結団式を行い、その後、柏崎刈羽原発PR館を見学したのですが、事故を起こした福島第一原発とは違う原子炉だから安全だと言うのですが、そもそも原子力発電は暴走すれば人の手に負えず安全ではありません。それでも安全と言いきることに不安を感じ、福島第一原発事故の教訓は活かされているのか疑問に感じました。巻原発建設阻止運動の中心だった中村さんの講演では、今こういった事に対する行動力が求められていると考えさせられました。
16日には福島県の復興庁に要請書を提出しました。原発事故があり苦勞している福島県は、被災者支援や避難生活を強いられる方々への補償など、最後まで先頭に立つてや

いわき市内での街宣活動



小名浜での打ち合わせ会議



経団連・東電・経産省との意見交換において、自分達がいかに大きな相手と闘っているかということを実感しつつ、経済優先を謳い原発を推進する姿勢に狂気を感じた。
(東北地方ひたち支部 古内厚志)

るべきと考えます。
福島県楢葉町での県民集会では、帰還困難区域に指定されている浪江町津島地区の方からの悲痛な訴えがあり心が痛みました。この地区沿いの国道114号線では、車内に置いた線量計の警報が鳴り止まず、未だに線量が高い場所がいくつもあります。事故後の除染もできず人が住める状態ではないですが、ここが故郷という方がたくさんいます。帰りたくても帰れない人を生み出した原発を許せません。
茨城では3班に分かれ各自自治体に対し要請行動をしました。原発は止まっても危険があり、一刻も早い実行可能な避難計画策定を求めますが、大変困難な状況と言えます。
(2面へ続く)



飯館村長泥ゲート前付近で6.28マイクロシーベルトを観測



新潟市でシール投票を行った。反対70、賛成3、どちらでもない6という結果であった。学生にも興味を持ってもらえるような活動をするのが課題ではないかと思った。また、巻原発建設計画で住民が行政と闘い、住民投票で計画を白紙にさせた事が印象に残った。
(東北地方酒田支部 田中俊介)

韓国からの訪問者と一緒に



新潟市内でおこなった原発シール投票



新潟



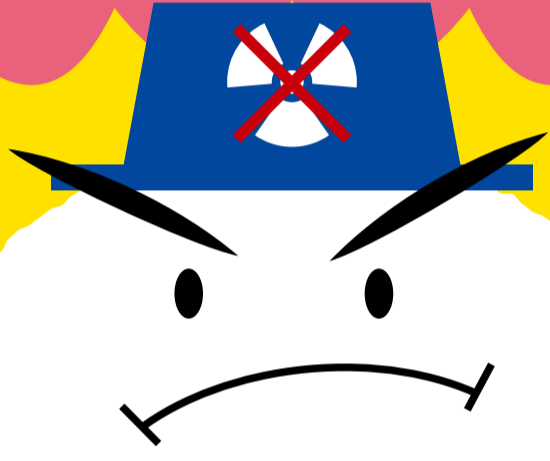
東京では経団連、東電、各省庁に要請書と共に自分たちの訴えと福島現状を訴えました。そして、最終日にさようなら原発全国集会でキャラバンの活動報告をさせていただきました。この他に各地で行ったシール投票では、小さい頃外で遊べなかった、特別扱いやいじめが起きる等々、たくさんの反対意見がありました。原発は若い世代の人たちにこんなにも苦勞をかけているのです。福島県民として、この世から原発を無くすために運動の先頭に立ち続けたいと思います。

キャラバン行動は早朝寒い中で街宣など大変でしたが、力を合わせやり遂げられたことを誇りに思います。この活動をさらに大きな運動にしていきたいためにも今後も頑張っていきます。
(フクシマ連帯キャラバン団長 丹野泰希)

広島、長崎で原爆被害を受け、福島では原発事故を受けた。原子力の被害を三度も受けながら、利権と保身に目が眩んだ政府や企業のために国が間違った方向へ進んで行くのは許せない。
(東北地方八戸支部 佐々木聖也)

高校生平和大使OBの講演を聞き、「微力だけど無力じゃない」という平和大使のスローガンが印象に残った。個々の力は小さくとも、それは意味のある大きなものであると思った。
(東北地方酒田支部 本多紘二)

Local 関東



雪にも負けず さようなら原発

フクシマ連帯キャラバン最終日の3月21日、東京・代々木公園で「さようなら原発全国集会」が開催されました。当日は、季節外れの雪にもかかわらず1万2千名あまりの人々が集まりました。全港湾からはフクシマ連帯キャラバン隊員全員と関東地方及び東北地方からの参加者を合わせ約85名が参加しました。



集会では呼びかけ人の鎌田慧氏が「事故以来8年目の出発。雪をも溶かす皆さんの熱気で原発ゼロへ進もう!」と呼びかけ、総がかり行動実行委員会の福山共同代表が「原発問題、森友問題、沖縄基地建設問題など許せないことだらけ。政治を私物化する安倍政権を辞任に追い込もう」と呼びかけていました。関東地方も、このよびかけに負けないう、雪にも負けず、頑張っていきます。

雪の中で開催されたさようなら原発集会

